

政治社会学会（ASPOS） 第7回総会及び研究会大会プログラム

2016年11月26日（土）～27日（日）
武蔵野大学（於：東京/有明）



政治社会学会 (ASPOS) 第7回総会及び研究会

大会日程 2016年11月26日(土)～27日(日)
会場 武蔵野大学・有明キャンパス (1号館5階503教室)
〒135-8181 東京都江東区有明3-3-3
大会参加費 会員1000円 非会員3000円 (懇親会費3000円)

※大会参加費と懇親会費を下記銀行口座に11月23日までにお振込みください(振込み手数料は参加者負担)

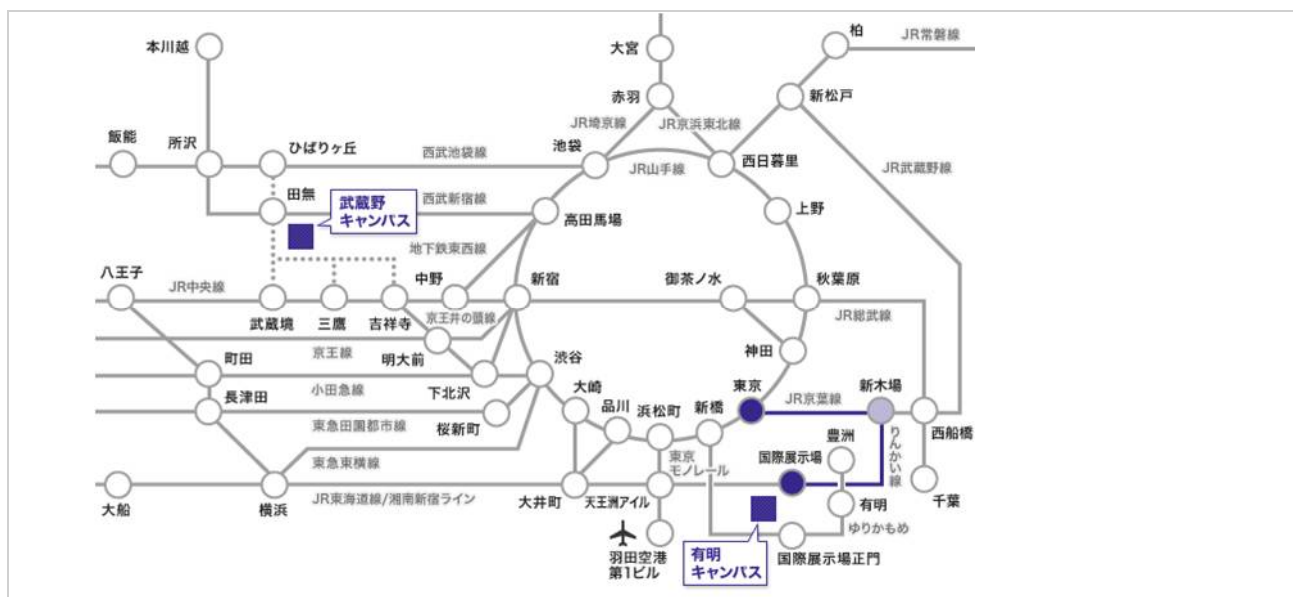
大会のみ参加の会員:1000円
大会、懇親会ともに参加の会員:4000円
大会のみの参加の非会員:3000円
大会、懇親会ともに参加の非会員:6000円

【振込み先】三菱東京UFJ銀行 吉祥寺駅前支店 (普通)4614938 アラキヨシノブ

【アクセス】 http://www.musashino-u.ac.jp/guide/campus/access_ariake.html

最寄り駅までのルート

- りんかい線「国際展示場」駅 徒歩7分
- ゆりかもめ「国際展示場正門」駅 徒歩6分
- JR各線(新幹線・在来線)、東京メトロ(丸ノ内線) 東京駅(丸の内南口)
5番乗場より都営バス(都05系統「東京ビッグサイト」行き)で約30分「武蔵野大学前」下車すぐ
- JR各線(新幹線・在来線)、東京メトロ(丸ノ内線) 東京駅(八重洲南口)
10番乗場より都営バス(東16系統「東京ビッグサイト」行き)で約30分「武蔵野大学前」下車すぐ



懇親会会場

「青蓮」(健康中華庵) 有明 TOC 店 (地図参照、飲み放題 3000 円)

東京都江東区有明 2-5-7 TOC 有明 3F TEL: 03-5500-1282



大会一日目 11月26日(土)

10:45-12:15 ポスターセッション (503 教室前もしくは 505 教室)

- 報告 1 「インドネシアによる東ティモール軍事併合の回避は可能であったか？—オーストラリアのウィルシー外相の外交構想、1974 年～1975 年—
木村友彦 (国立政治学会会員)
- 報告 2 「市町村別投票率から見た埼玉県の地域特性」
栗原瑞稀 (武蔵野大学大学院政治経済学研究科)
- 報告 3 「初級地域公共政策士制度の開発とその課題」
村上砂央里、新川達郎 (同志社大学大学院総合政策科学研究科)

12:15-12:45 理事会 (507 教室)

13:00~15:00 セッション 1 文理融合型研究方法と総合政策学へ応用 (503 教室)

- 司会 川野徳幸 (広島大学)
- 報告 1 「反射的方法 (表象) から回折的方法 (遂行) へ—文理融合の方法をめぐって」
西山賢一 (埼玉学園大学)
- 報告 2 「問題解決のための総合政策設計方法、俯瞰的視点とプラグマティズム的視点」
三石博行 (NPO 太陽光発電所ネットワーク)、槇和男 (元花王研究所主席研究員)
- 討論者 新川達郎 (同志社大学)、佐藤洋一郎 (人間文化研究機構)

グループ・ディスカッション (505 教室に移動)

※ 4～5 人のグループに分かれて、別室にて上記報告についてディスカッションを行い、各グループのリーダーが 2 分から 3 分でディスカッションの内容を紹介する。

15:00~15:15 <コーヒーブレイク>

15:15~17:00 セッション 2 自由論題セッション (503 教室)

- 報告 1 「地縁団体の NPO 化と NPO の地域化：都市部におけるエリアマネジメント NPO を事例にして」
森裕亮 (北九州市立大学)、新川達郎 (同志社大学)
- 報告 2 「文理融合研究のガバナンスの要諦としてのステークホルダーの特定と早期関与」
森壮一 (元 科学技術・学術政策研究所 上席フェロー)
- 報告 3 「大学教育におけるスタディツアーの機能に関する検討～参加者アンケートから考える～」
泰松範行 (東洋学園大学)

17:00~17:30 特別講演

「経済 (量的) 成長は政策目標たりうるか」原田博夫 (関東政治社会学会 (ASPOS, Kanto) 会長)

17:30~18:00 総会 (503 教室)

18:00~20:00 懇親会 「青蓮」(健康中華庵) 有明 TOC 店

大会二日目 (11月27日)

9:00-10:30 セッション3 政治社会学会と文理融合研究 (503 教室)

趣旨説明 佐藤洋一郎 (人間文化研究機構)
ディスカッション

10:45-12:15 セッション4 太陽光発電に関する電力(出力)抑制とエネルギー政策 (503 教室)

司会 三石博行(NPO PV-Net)

報告1 「分散型エネルギーシステムにおける出力抑制問題へのシステムズアプローチ」

野間口大 (大阪大学)

報告2 「フューチャーデザイン：エネルギーシステム分野への応用可能性」

原圭史郎 (経済産業省)

報告3 「再エネ大量導入に向けた社会モデルに関する一考察—農業とエネルギーのシステム融合に向けた具体策—」

尾形清一 (京都大学)

討論者 松崎宣明 (NPO PV-Net)

会場参加者を入れての討論 20分

12:15-12:45 理事会開催 (507 教室)

13:00-15:00 セッション5 The 7th annual KAPS-ASPOS Joint Conference (503 教室)
“ The Role of Civil Society in Changing Democracy”

Co-organization: Kyoto-Nara EU Association

General Manager: Hiroyuki Mitsuishi(Kyoto-Nara EU Association)

Opening Remarks: Yoshinobu Araki (Musashino University)

Session 1: 13:05 -14:45

Chairman: Hongik Chung (Seoul National University)

1. Yoneyuki Sugita (Osaka University)

“US Pivot to Asia and Japan’s Development Cooperation Charter”

2. Jin-Ho Jang (Gwangju Institute of Science and Technology)

“Debates on the Nature of Capitalism in Contemporary South Korea”

3. Ayako Nakamura (Tohoku University)

“Regional Cooperation and Securitization of Human Trafficking in Northeast Asia”

Discussant: Mieko Nakabayashi (Waseda University), Wonho Jang (University of Seoul)

Session: 2 15:05 -16:45

Chairman: Tatsuro Niikawa (Doshisha University)

1. Mika Ishida (Osaka University)

“Jury Trials under the U.S. Civil Administration of the Ryukyu Islands (USCAR) Court,1963-1972”

2. Sukki Kong (Seoul National University Asia Center)

“Community Politics of the Korean Engagement in Social Economy”

3. Young-Choon Kim (UNIST)

“Corporate Engagement with Community in South Korea”

Discussant: Yoshito Ishio (International Christian University)

Wonho Jang (University of Seoul)

Closing Remarks: Hyun-Chin Lim (President of Korean Social Science Research Council)

ocial Science Research Council)